

2026 年度連続公開講座（全 5 回）

《金文講座》——白川静『金文通釈』に沿って（5 年目）

今年度も引き続き、白川静『金文通釈』所収の金文テキストを読み進める形で講義します。今年度は有名な散氏盤・史牆盤・宗周鐘なども含む、西周時代中期後半の銘文を読みます。殷を亡ぼした後、西周王朝は殷文化の名残りが濃厚だった前期から中期前半までの長い時間をかけて、周本来の文化に転換しました。その中期後半の銘文です。

白川静『金文通釈』は歴史に残る先駆的な労作ですが、解明しきれなかった問題もかなりあり、本講座ではそうした難問のうち解明できたことも盛り込んでいきます。



【開催日程】

- 第 1 回 5 月 16 日（土） 14:00～16:00 【会場】立命館大学（衣笠）存心館 ZS 310 教室
第 2 回 7 月 11 日（土） 14:00～16:00 【会場】立命館大学（衣笠）存心館 ZS 310 教室
第 3 回 9 月 26 日（土） 14:00～16:00 【会場】立命館大学（衣笠）敬学館 KG 108 教室
第 4 回 11 月 21 日（土） 14:00～16:00 【会場】立命館大学（衣笠）敬学館 KG 108 教室
第 5 回 2 月 27 日（土） 14:00～16:00 【会場】立命館大学（衣笠）存心館 ZS 310 教室
（注）存心館は中央広場の西で、時計台の南の校舎。敬学館はキャンパスの西端に位置する。

YouTube の《金文講座》も継続します。

【講師】

高島 敏夫

（立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所・客員研究員）

【備考】

- ・レジュメを配布いたします。
- ・筆記用具（ノート・ペン）を各自持参ください。

参加費無料・事前申込不要